

よろこび高くまいあがれ BWV36 歌 詞

第1部

1 よろこび高くまいあがれ 合唱

よろこび高くまいあがれ 夜空の星の高みへ
シオンでよろこぶ声がある。
だがまで よろこびの声がうせても
よろこびの声が 聞こえなくても
主がこられるから。

2 来ませ異邦の救い主 コラール ソプラノ・アルト

乙女の子に生まれた、世の人みな驚いた
神はこのようにイエスを生まれさせた。

3 愛はやさしく歩みより アリア テノール

愛はやさしく歩みより 愛する人をつれて行く。
花よめは花婿を見ると われを忘れて喜ぶように
身も心もイエスに従い行く。

4 甘い調べを琴の音にあわせ コラール

甘い調べを琴の音にあわせ
あふれる喜びを奏でよう。
うるわしいわが花婿
イエスと愛の絆に思いをこめて
歌え、踊れ、喜び高く声を上げよ
大いなる栄光の王。

第2部

5 よおこそ尊い宝 アリア・バス

よおこそ尊い宝
愛と信仰もて、私たちの心にやどりませ。

6 父にひとしく コラール・テノール

父にひとしく肉に勝利し
永遠の力により
肉体の病をいやしたまえ。

7 力弱い音色であっても アリア・ソプラノ

力弱い音色であっても 天の神の御霊がとりなして
神の栄光をたたえうる
こんな声でも神は親しく聞いてくださる。

8 父なる神に 栄光あれや コラール

父なる神に 栄光あれや、
聖なる神に いまもとわに。

メ モ

初演 1725年待降節第1主日

聖書

マタイ 21:1-9 (イエスのエルサレム入城)

ローマ 13:11-14t (夜はふけ日が近づいている)

歌詞 第1曲 ニコライ 第2,4,6,8曲 Mルター (いざ来ませ異邦人の救い主) ルターの異邦人観は現代ではどうかと思われたので、「異邦」という訳語にとどめた。

1725年バッハがトマス教会音楽監督に就任して40歳の降誕節第1日曜日の礼拝で初演された。その三週間後にクリスマスを迎えてイエスの到来を祝う。

「よろこび 高くまいあがれ、 夜空の星の高みへ」

喜びを表す上昇音型で、言葉が輪唱され(フーガ)繰り返される。神の民がシオンに集まって、喜びの歌が満ちている。そのシオンは神の民が集う都エルサレム、いま礼拝に集まっているライプツィヒの民とされている。

ゆえに、遠く離れたところに、また難しい書物の中にイエスを求めなくても、語りつがれた、その声はいつかは失せていくことがあっても、神の子イエスの誕生によってすべては新しくされる。。

JSバッハの歌詞

福岡バッハコレギウムに入れてもらって10年ばかり、バスのパートを歌った。ドイツ語歌詞を歌った。わたしの結論では、母語ではないし、歌詞に日本語を添えて、言葉の意味をイメージするようにしたが、無理かなーと思った。ということがあって、日本語で歌えるように翻訳してYoutubeに投稿している。その翻訳歌詞は下記のweb-ホームページに掲載している。この作業をして思うことがいくつかある。まず、ドイツ語歌詞は文末で韻を踏んで綺麗に整っている。翻訳時にできていない目標である。つぎに、日本語は基本があいうえおの母音でできている。母音に子音を加える。「わたしたち」の5文字は、「wir ヴィア」で、一音節。この違いは5文字対1文字というように、歌詞を翻訳時、文字数が増えてしまう難関なのです。そこで日本伝統の短歌や俳句の手法が有効になってくる。主語をはぶく。語る内容そのものを主語にする。第1曲の「よろこび高く舞上られ。夜空の星の高みへと。主が来られるから。」というようになる。わたしも韻を踏んで綺麗な言葉を並べたいのですが、そのうち実現したいと思っています。これができる、トマス教会合唱団のように小学生の少年たちでも歌えるもので難しい曲ではありません。NHK合唱コンクールでうたわれるようになるといいですね。

web <https://minichapel.web.fc2.com/index.htm>